（様式12）　　（指定管理者が記入する様式）

令和７年度　「横浜市中山地区センター」　収支予算書兼決算書

収入の部　　（税込、単位：円）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	41,775,000		41,775,000	41,775,000	0	横浜市より
物価及び賃金水準変動に伴う影響額	0	1,346,302	1,346,302	1,346,302	0	(物価ｽﾗｲﾄﾞ補正額：625,000円、賃金ｽﾗｲﾄﾞ補正額：721,302円)
ハーモニーみどり共用部分負担金	0	617,737	617,737	617,737	0	
利用料金収入	5,100,000		5,100,000	5,240,800	△ 140,800	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	2,067,000		2,067,000	3,079,750	△ 1,012,750	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	385,000	0	385,000	507,356	△ 122,356	
印刷代	10,000		10,000	8,407	1,593	
自動販売機手数料	320,000		320,000	420,488	△ 100,488	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他（自販機分担金）	50,000		50,000	58,920	△ 8,920	
その他（利子他）	5,000		5,000	19,541	△ 14,541	
収入合計	49,327,000	1,964,039	51,291,039	52,566,945	△ 1,275,906	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,164,000	721,302	24,885,302	23,975,487	909,815	
給与・賃金	22,488,000		23,209,302	22,337,652	871,650	ｾﾝﾀｰ長・ﾁｰﾌｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ及び時給職員16名
		721,302				賃金水準ｽﾗｲﾄﾞ充当分：補正額721,302円
社会保険料	1,416,000		1,416,000	1,385,754	30,246	
通勤手当	220,000		220,000	220,360	△ 360	常勤職員
健康診断費	16,000		16,000	7,721	8,279	常勤職員
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	24,000	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,350,000	0	1,350,000	1,374,706	△ 24,706	
旅費	11,000		11,000	7,694	3,306	出張旅費
消耗品費	328,000		328,000	710,085	△ 382,085	事務消耗品費
会議賄い費	16,000		16,000	0	16,000	
印刷製本費	260,000		260,000	206,307	53,693	
通信費	343,000		343,000	224,803	118,197	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	40,200	△ 200	
職員等研修費	25,000		25,000	25,410	△ 410	
振込手数料	22,000		22,000	25,053	△ 3,053	
リース料	60,000		60,000	57,310	2,690	
手数料	45,000		45,000	77,844	△ 32,844	
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	1,829,000	0	1,829,000	1,724,310	104,690	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,829,000		1,829,000	1,724,310	104,690	
自主事業費			0	0	0	
管理費	14,924,000	1,242,737	16,166,737	16,641,370	△ 474,633	
光熱水費	8,615,000	0	8,615,000	7,913,865	701,135	
電気料金	5,000,000		5,000,000	4,721,610	278,390	自動販売機分担金含む
ガス料金	2,551,000		2,551,000	2,203,597	347,403	
水道料金	1,064,000		1,064,000	988,658	75,342	
清掃費	1,904,000		1,904,000	1,989,641	△ 85,641	定期清掃費
修繕費	993,000	1,242,737	2,235,737	3,676,211	△ 1,440,474	物価ｽﾗｲﾄﾞ：補正額625,000円・ﾊｰﾓﾆｰみどり共用部分負担金617,737円
機械警備費	181,000		181,000	190,788	△ 9,788	
設備保全費	3,231,000	0	3,231,000	2,870,865	360,135	
空調衛生設備保守	910,000		910,000	848,630	61,370	
消防設備保守	166,000		166,000	106,986	59,014	
電気設備保守	123,000		123,000	133,980	△ 10,980	
設備総合巡視点検	330,000		330,000	318,336	11,664	
空調自動制御装置保守	377,000		377,000	375,144	1,856	
エレベーター	320,000		320,000	326,916	△ 6,916	
自動ドア	98,000		98,000	89,320	8,680	
植栽管理	350,000		350,000	347,454	2,546	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	39,302	10,698	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費・１	289,000		289,000	192,397	96,603	空気測定・残留塩素・環境衛生選任・温水ﾋｰﾀｰ点検
その他保全費・２	218,000		218,000	92,400	125,600	ｳｫｰﾀｰｸｰﾗｰ水質検査、保守点検・節水ｼｽﾃﾑ定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
共益費			0		0	
公租公課	2,800,000	0	2,800,000	3,872,971	△ 1,072,971	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,576,000		2,576,000	3,233,120	△ 657,120	
印紙税	20,000		20,000	19,211	789	
その他（県・市民税他）	204,000		204,000	620,640	△ 416,640	
事務経費　（計算根拠を説明欄に記載）	2,699,000	0	2,699,000	3,360,640	△ 661,640	
本部分	2,699,000		2,699,000	3,360,640	△ 661,640	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0	0	0	
ニーズ対応費	1,561,000		1,561,000	1,617,461	△ 56,461	
支出合計	49,327,000	1,964,039	51,291,039	52,566,945	△ 1,275,906	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				420,488		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				420,488		

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　利用料金収入実績

	部屋利用料	キャンセル料	領収金額合計
４月	440,630	2,320	442,950
５月	437,660	5,100	442,760
６月	433,410	0	433,410
７月	453,100	1,320	454,420
８月	425,030	0	425,030
９月	428,280	6,030	434,310
１０月	464,800	6,150	470,950
１１月	415,650	3,960	419,610
１２月	400,430	3,720	404,150
１月	413,470	4,200	417,670
２月	419,600	3,830	423,430
３月	466,860	5,250	472,110
合計	5,198,920	41,880	5,240,800

【説明】
部屋利用料＋キャンセル料＝領収金額合計
＊部屋利用料…部屋の利用に対する収受金額

令和7年度　中山地区センター利用料金収入決算内訳

（単位：円）

項目		当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C−D）	説明(内容、積算等)
利用料金収入		5,100,000	0	5,100,000	5,240,800	−140,840	
	体育室	1,671,000	0	1,671,000	1,705,440	−34,440	
	会議室	2,183,000	0	2,183,000	2,200,300	−17,300	
	会議室A	1,150,000	0	1,150,000	1,196,580	−46,580	
	会議室B	684,000	0	684,000	761,280	−77,280	
	会議室AB	349,000	0	349,000	242,400	106,600	
	料理室	91,000	0	91,000	114,560	−23,560	
	和室	590,000	0	590,000	645,770	−55,770	
	工芸室	565,000	0	565,000	574,770	−9,770	

（様式2）

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　利用状況（団体＋個人利用）

月別	開館日数（日）	入館者数(人)	利用層別利用数(人)								前年度合計(B)	前年比(%) A／B
		合計(A)	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	一般	65歳以上	合　計		
4月	29	6,756	299	859	661	365	94	2,958	1,520	6,756	6,268	108%
5月	30	7,263	373	904	491	640	94	3,210	1,551	7,263	6,127	119%
6月	29	6,864	386	797	500	576	105	2,971	1,529	6,864	6,511	105%
7月	30	8,049	468	1,090	464	647	215	3,557	1,608	8,049	7,380	109%
8月	30	7,385	466	867	538	704	117	3,287	1,406	7,385	6,650	111%
9月	29	7,150	357	956	561	519	166	3,075	1,516	7,150	6,401	112%
上半期計	177	43,467	2,349	5,473	3,215	3,451	791	19,058	9,130	43,467	39,337	110%
10月	30	7,984	360	961	566	818	121	3,480	1,678	7,984	6,248	128%
11月	29	7,502	277	713	441	680	165	3,762	1,464	7,502	7,097	106%
12月	27	6,426	253	915	383	616	134	2,646	1,479	6,426	5,821	110%
1月	26	6,738	303	797	349	533	154	3,009	1,593	6,738	6,467	104%
2月	27	6,815	329	809	479	642	142	2,830	1,584	6,815	6,818	100%
3月	30	7,669	369	1,063	645	590	150	3,228	1,624	7,669	7,087	108%
下半期計	169	43,134	1,891	5,258	2,863	3,879	866	18,955	9,422	43,134	39,538	109%
年間合計	346	86,601	4,240	10,731	6,078	7,330	1,657	38,013	18,552	86,601	78,875	110%

月別	居住区別利用数(人)				その他利用数		
	区内	区外	市外	合　計	体育室（人）	ﾚｸﾎｰﾙ（人）	図書貸出冊　数
4月	5,420	1,085	251	6,756	2,720	0	357
5月	5,763	1,227	273	7,263	2,770	0	348
6月	5,449	1,144	271	6,864	2,504	0	319
7月	6,475	1,264	310	8,049	2,779	0	342
8月	5,784	1,289	312	7,385	2,542	0	365
9月	5,591	1,278	281	7,150	2,727	0	278
上半期計	34,482	7,287	1,698	43,467	16,042	0	2,009
10月	6,172	1,489	323	7,984	2,917	0	310
11月	5,916	1,326	260	7,502	2,312	0	288
12月	5,053	1,057	316	6,426	2,291	0	280
1月	5,208	1,269	261	6,738	2,507	0	322
2月	5,444	1,138	233	6,815	2,414	0	320
3月	6,091	1,324	254	7,669	3,029	0	338
下半期計	33,884	7,603	1,647	43,134	15,470	0	1,858
年間合計	68,366	14,890	3,345	86,601	31,512	0	3,867

令和7年度　自主事業報告書

施設名　横浜市中山地区センター

募集対象	事　業　名 （教　室　名）	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備　　考 （共催団体・その他）
				募集人数 （人）	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 （円）	参加者 負担総額 （円）	総経費 （円）	徴収の 有・無	参加費用 （円）	1回1講師 あたり （円）	1教室講 師謝金額 （円）	
概ね60歳以上	イキイキ健康体操(全10回)1期～4期　　1部	4月～3月	40	30	1320	0	650,000	245,600	有	5,000	5,000	200,000	1名途中回からの参加者あり
概ね60歳以上	イキイキ健康体操(全10回)1期～4期　　2部	4月～3月	40	30	1200	0	618,000	245,600	有	5,000	5,000	200,000	1名途中回からの参加者あり
概ね60歳以上	イキイキ健康体操（全10回）1期～4期　レクレーション保険	4月～3月	0	0	0	67,000	0	67,000	有	0	該当なし	該当なし	
小学生以下の子供と保護者	おもちゃ病院	4、8、10、12月	4	36	87	25,040	0	25,040	無	0	5,000	20,000	
未就学児と保護者	おはなし　おもちゃばこ	5月～2月	10	16	121	20,660	0	20,660	無	0	2,000	20,000	
成人	書をたのしむ（全3回）	4月	3	14	42	4,270	21,600	25,870	有	2,700	6,660	19,980	
成人	能に親しむ会（座学5回＋公演4回）	4月～12月	9	20	127	0	308,600	294,100	有	9,000	5,000	25,000	5月チケット76,000　7月66,500 11月64,000　12月56,000
成人	能鑑賞のお誘い	4月～12月	9	15	99	25,000	0	25,000	有	7,500	5,000	25,000	共催：霧が丘コミュニティハウス(霧が丘コミハが参加費収入受取）
成人	緑区の野菜を慈しむ	通年	不定期	0	0	30,000	0	30,000	無	0	0	0	
成人	ZUMBA（全10回）1期～4期	4月～3月	40	200	1860	0	1,116,600	257,600	有	6,000	5,000	200,000	
成人	ZUMBA（全10回）1期～4期 レクレーション保険	4月～3月	0	0	0	50,750	0	50,750	有	0	該当なし	該当なし	
成人	初めての包丁研ぎ	5月	1	6	6	0	6,000	4,301	有	1,000	3,341	3,341	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第2.5回 カフェ編	6月	1	5	2	0	2,400	990	有	1,200	0	0	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第2.5回　カフェ　レクレーション保険	6月	0	0	0	560	0	560	有	0	該当なし	該当なし	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第3回　緑区遺産編	6月	1	20	7	0	3,500	3,000	有	500	3,000	3,000	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第3回　レクレーション保険	6月	0	0	0	560	0	560	有	0	該当なし	該当なし	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第4回	10月	1	20	3	11,100	900	12,000	有	300	5,000	12,000	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第4回　レクレーション保険	10月	0	0	0	560	0	560	有	0	該当なし	該当なし	
成人	ぶらりタウンウォーキングなかやま第5回	11月	1	6	2	0	400	0	有	200	0	0	
成人	植物染め体験	10月	1	15	5	5,032	17,500	22,532	有	3,500	12,000	12,000	内訳講師9,000円、助手3,000円
成人	なかやま笑劇場	10月	1	80	71	0	10,650	9,240	有	150	6,000	6,000	
成人	韓国語講座	11～1月	1	16	40	0	33,000	22,520	有	3,000	5,000	20,000	
成人	韓国料理講座	1月	1	16	17	0	42,500	39,820	有	2,500	9,000	9,000	内訳講師6,000円、助手3,000円
成人	共読講座	1月	1	15	4	6,700	800	7,500	有	200	7,500	7,500	内訳講師5,000円、助手2,500円
成人	ニャンドゥティ	2月	1	6	6	0	9,000	8,971	有	1,500	5,000	5,000	

成人	インターネット被害防止	２月	1	15	11	0	0	0	無	0	0	0	
小学生	子どものドイツ生活経験室（全3回）	7月～８月	2	16	48	0	96,000	76,381	有	6,000	8,500	25,500	内訳講師6,000円、助手2,500円
小学生	書初め講座	12月	1	12	11	626	7,700	8,326	有	700	6,000	6,000	
小中学生	SingAlong子どもコーラス	8月	3	15	42	2,160	16,800	18,960	有	1,200	5,000	15,000	
小中学生	Esports体験講座	11月	1	15	20	15,000	0	15,000	無	0	5,000	15,000	
保護者と小学生	親子スイーツ　アイスコーンケーキ	8月	1	12	8	2,449	8,800	11,249	有	2,200	6,000	6,000	
小学4年生～6年	夏休み！ドイツ製大型マシンでものづくり体験	８月	1	20	20	0	0	0	無	0	0	0	
保護者と子ども	ARデジタルスタンプラリー	３月	1	100	40	49,360	0	49,360	無	0	30,000	30,000	
保護者と小学生	親子でバドミントンを楽しもう（全5回）1～２期	9月～１２月	2	30	230	16,260	109,000	125,260	有	保護者3,000 小学生2,000	10,000	96,800	内訳講師3,600円、助手3,200円（助手2名）
合　　計			179		5449	333,087	3,079,750	1,724,310			165,001	982,121	

自主事業に要した総経費は、指定管理料(自主事業費）から充当した額と参加者負担額等の合計となります。

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　苦情対応状況報告

	年月日	内　　容	対 応 結 果
1	R7.4.8	体育室の中央と倉庫側の間の仕切りネットの空間からバスケットボールが飛んできた。フックなどつけてほしいと話していたが、その後どのようになったか。（バドミントンの団体より）	6月の休館日に、ねじれていた仕切りネットをほどき、壁にフックをつけ、ひも付き仕切りネットを結び、空間が少なくなるよう作業（業者対応）をした。
2	R7.5.7	和室の利用団体（茶道）より、畳が傷んでおり、畳の入れ替えはしないのか？と話し	6月の休館日に、和室Bの畳の表替えをした。
3	R7.5.8	料理室の魚焼きグリルの不具合があると、利用者から声かけあり。	東京ガスライフバルの点検を依頼、グリルの網と土台のセットの仕方が違っていただけで、不具合はなかった。
4	R7.7.30	ショートテニスで利用中の団体から、となりのコートで活動しているピックルボールを打つ音が気になると、受付に意見あり。	他種目で、聞きなれない音であるかもしれないが、地区センターとして利用許可をしており、受け入れていただきたいと伝え、了解していただいた。
5	R7.9.10	体育室個人利用（卓球）のラケット（無料で貸し出し）の破損が続く。	貸し出すスタッフより、大切に使っていただくよう、さらに声かけをしている。
6	R7.9.20	利用者より、男子個室トイレ（4階）あたり、たばこ臭いと、受付に話あり。	スタッフは定期的に点検をしているが、意見を伺い、ただちにトイレを見たところ、便器のなかに数本のタバコの吸い殻が入れられてあった。今後も気をつけて、巡回をする。
7	R7.12.14	4階のトイレで高校生？3人がたばこを吸っていた模様。自分たちではないと否定	土日の午後は利用者も多く、目の届かないところで問題行動を起こさせないよう、さらに注意する。
8	R8.3.11	別の団体より抽選に当たる回数が少なく納得できない	システムのアルゴリズムは団体ごとの当選回数を考慮していないので、バラつきでるのは仕方ない。
9	R8.3.16	自主事業から立ち上がった団体に6か月も毎週優先させるのは納得できない　構成メンバーも別の団体がいるようだ	団体のメンバーに既存の団体参加者がいるわけでなく、問題はない　毎週使うかどうか、時間を減らせるかは相談する。
10	R8.3.19	4階の娯楽コーナー奥の看板が非常口の通路を塞ぐように置いているのは問題だ	非常口への通路を確保するように直した。

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内　　容	効　　果
1	R7.4.24	体育室個人利用の台帳の見直しをした。	1日の予約枠表を1枚にまとめペーパレスとしたこと、また予約を受けるスタッフと記入する利用者の利便性を図った。
2	R7.5.12	「花いっぱいの会」より花の種の寄付あり。	いただいた種を3階受付付近に置いた。利用者に喜ばれている。
3	R7.5.15	「SmalltownLibrary」の図書の貸出期間を1週間から2週間に変更した。	貸出期間が長くなり、利用者には喜んでいただいている。
4	R7.5.28	利用団体に貸し出していた物品消毒用雑巾と消毒液の貸出を終了した。	引き続き、利用したいと申し出があれば、貸し出し対応をしている。
5	R7.6.2	「クールシェアスポット」対象施設である。	中山地区センターが「クールシェアスポット」施設であることがわかるよう、啓発物品設置等、利用者に、快適に過ごしていただけるよう取り組みに協力している。
6	R7.6.24	和室Bの畳の表替えをした。	畳を養生するため、利用内容が、茶道、生け花、着付け以外での利用時、畳にシートをひいて利用していただくよう、お願いする案内をした。
7	R7.7.4	令和7年度「利用者会議」を開催日を3日設けた。	できるだけ多く団体に参加していただけるよう、同様の内容の会議を3日間開催した。
8	R7.7.28	固定式バスケットゴール（2か所）の上げ下げが不調である。	休館日を利用して、業者による固定式ゴールの点検を行った。標準使用期間が過ぎており、修理ができなかった。しかし、使用できないわけではないため（上げ下げは不可）、電動稼働式ゴールを上げ下げして対応することとした。
9	R7.9.1	体育室以外での、個人利用物品として、トランプを取り入れた。	利用があるようであれば、個人利用の新たな物品としたい。
10	R7.9.11	中山小学校（PTA活動）より、「こども110番の家」の看板掲示継続のお願いあり。	昨年に引き続き、「こども１１０番の家」の看板をハーモニーみどり1階入口横に掲げ、子どもの安全を見守りたい。
11	R7.9.16	3階受付付近に設けた「SMALLTOWN LIBRARY」コーナーに地区センターがお勧めする貸出用図書を配架。	利用者が手に取りやすいよう、配架している本の魅力を伝えるPOPを手作りした。
12	R7.12.10	土日の午後、中学生の居場所として工芸室を開放し、談笑やボランティアによる音楽演奏を楽しめる「中学生の部室」を開設。	小学生や他の利用者より活発な中学生が、問題行動を起こさないようにしつつ居場所～サードプレイスとして過ごせるような環境を整える　様子を見ながら徐々に定着を目指したい
13	R8.1.27	ぐりーんピースの子育て支援相談の活動応援のため、木製レールの電車セットを購入	ぬいぐるみ、児童書などの寄付もあり、子育て世代の利用が増えている。
14	R8.2.12	中山小学校3年1組の中山アゲアゲ写真プロジェクトの作品を掲示し、アンケート調査に協力	町の魅力を多くの人に広めたいという思いから、様々な所へ出かけて魅力が伝わる写真を撮った　地区センターのイメージアップにも心強い応援となった。

令和7年度　備品一覧

施設名　横浜市中山地区センター

No	品　　名	形状・その他	単価（円）	購　入		廃　棄		増　減
				数量	年月日	数量	年月日	
1	全自動洗濯機	シャープES-TG55L-A	42,800	1	H25.4	1	R7.7.23	減
2	衣類乾燥機一式	パナソニックNH-D402P	47,500	1	H25.4	1	R7.7.23	減

（注）当該年度予算で購入した備品、または廃棄した備品を記入してください。

令和7年度　修繕一覧

施設名　横浜市中山地区センター

No	修繕年月日	修　繕　箇　所	金　額(円)	業　者　名
1	R7.6.23	ハーモニーみどり誘導灯バッテリー交換	23,760	東横防災商事
2	R7.7.2	体育室防球ネット補修工事一式	159,500	東京体育用品
3	R7.7.28	ハーモニーみどり無圧ヒーター部品交換作業代	53,592	港都
4	R7.8.13	体育室固定式バスケットゴール点検調整	110,000	東京体育用品
5	R7.8.28	4階会議室Bブラインド(2か所)更新	181,353	中山堂表具内装
6	R7.10.6	4階会議室A壁補修	65,233	中山堂表具内装
7	R7.10.8	体育室天井シリコン防水	154,000	山田工芸
8	R7.10.17	自動制御機器AHU-1	198,000	東京テクノ
9	R7.10.17	1階エレベーターボタン交換	15,229	日本オーチス・エレベーター
10	R7.11.25	体育室コンセント・カバー交換	24,200	妙光電機
11	R7.12.10	プレイルームカーテン交換	136,507	中山堂表具内装
			1,121,374	

	R7.12.25	4階シャッター修繕	189,001	東洋シャッター
	R8.3.25	プレイルーム他LED化	1,504,800	妙光電機
	R8.3.25	体育館ホール他LED化	432,300	妙光電機
	R8.3.25	自動ドア交換	428,736	神奈川ナブコ
			3,676,211	

令和7年度　委託内容一覧

施設名　横浜市中山地区センター

No	委託期間	委　託　内　容	金　額(円)	業　者　名
1	R7.4.1～ R8.3.31	施設管理業務保守委託 (清掃1,297,142円、害虫・害獣駆除39,302円、　植栽管理347,454円、設備総合巡視点検318,336円　空気環境測定40,194円、衛生管理選任64,308円　温水ﾋｰﾀｰ点検63,775円、給湯水残留塩素24,120円	2,194,631	(株)港都
2	〃	空調衛生設備保守	835,232	テクノ矢崎(株)
3	〃	消防設備保守	93,786	(株)東横防災商事
4	〃	エレベーター保守	326,916	日本オーチス・ エレベータ(株)
5	〃	自動ドア保守	89,320	(株)神奈川ナブコ
6	〃	機械警備業務	190,788	セコム株式会社
7	〃	自家用電気工作物保守	133,980	デンキノユウ
8	〃	敷地内外周りの除草清掃業務	120,240	中山地域ｹｱﾌﾟﾗｻﾞ
9	〃	空調自動制御装置保守点検	375,144	東テク㈱
10	8月	水質検査(冷水機2箇所)	19,800	(株)総合環境分析
11	10月	冷水機保守点検(冷水機2箇所)	66,000	(株)OSGｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ

令和7年度　横浜市中山地区センター委員会名簿

役　職	氏　　名	団体名(自治会町内会名など)
		中山自治会会長
		青砥町自治会長
		新治中部地区子ども会育成会会長
		山下青少年指導員会会長
		新治中部地区民生児童委員協議会会長
		山下民生児童委員協議会副会長
		山下青少年育成会会長
		新治中部地区スポーツ推進委員会会長
		山下スポーツ推進委員会会長
		中山食事会代表
		新治中部地区老人クラブ連合会会長
		山下老人クラブ連合会会長
		中山小学校校長
		中山小学校PTA会長
		中山中学校校長
		中山中学校PTA会長
		山下小学校校長
		山下小学校PTA会長

（様式14）

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年　横浜市中山地区センター委員会開催報告

■第1回

日　時	令和7年6月18日（水）18時30分～19時30分
場　所	中山地区センター3階　工芸室
出席者	19名（センター委員16名、緑区地域振興課職員1名、中山地区センター長1名、中山地区センター1名）
議　題	1.挨拶（センター委員会会長、緑区地域振興課係長）　2.センター委員自己紹介　3.議題①令和6年度事業報告、②令和7年度事業計画
意見等	会則より、センター委員新会長、新副会長の選任。出席委員の互選あり。センター委員長の進行で、資料に沿って議題の内容を説明。質疑応答のあと、各種イベントの案内をした。

令和7年度　利用者会議開催状況

日　時	令和7年7月4日（金）、8日（火）、9日（水）全て13時30分～14時30分　※3日間設けた
場　所	中山地区センター4階会議室A
出席者	16団体17名（3日間の合計）、中山地区センター長、チーフコーディネーター
議　題	1　団体による活動紹介、2　令和6年度の利用状況、ニーズ対応費、利用者からの意見聴取、団体登録状況の説明、令和7年度の自主事業講座計画を資料を基にセンター長より説明、3　「ハーモニーみどりふれあいまつり」開催応募案内
意見等	センター長より、令和6年度の9月～11月に行われた空調工事による利用者への影響を説明。また、図書の貸出数が伸び悩んだ結果をふまえ、令和7年度は、図書利用向上に向けて、利用者にPRする予定と伝えた。その他、「ハーモニーみどりふれあいまつり」の応募案内した。参加者より、令和6年度で閉館となった山下交流センター（山下交流センターより卓球台、ピアノを譲り受けた経緯を説明したので）について、会議室Bを利用している団体より故障しているブラインドの修理予定は？、8月に開催する「多文化盆おどり」について質問があった。

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　ニーズ対応費使途一覧

	実施内容	金　額	備　考
1	共有部分貸し部屋・玄関マット・体育室モップ交換代(4月～3月)	69,784	㈱サニクリーン東京
2	部屋予約システムnexres月額使用料(1年分)、料金変更対応代	716,100	㈱ソリマチ技研
3	書籍78冊	133,036	
4	「ふれあいまつり」一式	71,600	
5	トランプ	1,100	
6	バドミントンシャトル・卓球ボール等	18,762	
7	ハロウィンおかし	1,841	
8	縦型コードレススティッククリーナー×1(サイクロン式東芝製)	16,596	
9	「多文化盆おどり」一式　8/7開催	273,263	
10	「第3回多文化フェア」	156,300	
11	和室B畳表替え施工一式	150,656	㈲中山堂表具内装
12	木製レール電車セット	8,423	
合　計		1,617,461	

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　事故発生状況及び対応状況報告

	年月日	内　　容（状況、発生場所等）	対　応　結　果（対応者）
1	R8.3.6	75歳女性、体操の団体活動中、歩く運動とストレッチをしていて意識が遠くなり、救急通報	徐々に意識が戻り、救急隊到着後、状態チェックし、昭和医大北部病院へ搬送

（様式12）

令和7年度　職員等に対する研修の実施状況

施設名　横浜市中山地区センター

No.	実施月日	研修名	研修内容（概略）	参加者数及びその内訳
1	R7.4.18	AED取り扱いについて	（株）サニクリーン東京によるAEDの取り扱いについて	中山地区センター 職員1名　スタッフ15名
2	R7.4.18	個人情報の取り扱いについて	センター長による個人情報の取り扱いについての研修	中山地区センター 職員1名　スタッフ15名
3	R7.6.27	「みどりおはなしフェスタ」報告会	緑区地域子育て支援拠点いっぽによる「みどりおはなしフェスタ」を終えての報告会	中山地区センター スタッフ1名
4	R7.9.17	消防訓練	地震が発生したと想定、エレベーターが停止となり、1階へ避難する訓練。また、3階にある救助袋を使用して外へ脱出する訓練、水消火器による消火訓練を行った。	中山地区センター 職員２名　スタッフ10名
5	R7.10.24	浸水避難訓練	鶴見川が氾濫した想定で、高齢者を2階に避難させる訓練	中山地区センター 職員１名　スタッフ1名
6	R7.10.28	防犯研修	不審者出没に対応するながら見守り、犯罪被害に遭わないための防犯意識向上を、緑警察署生活安全課より学んだ　少年の問題行動への対応について質疑応答が活発に行われた	中山地区センター 職員７名　スタッフ１１名
7	6/26 7/31 8/29 9/29 10/31 11/27 12/23 1/22 1/31	ミドリンネットグループ活動	スポーツセンター、国際交流ラウンジと共に、区地域施設間連絡協議会の連携事業としてスタンプラリーを企画、実施まで行った	中山地区センター 職員１名
8	11/5 12/4 1/8 2/5 3/5	みどりーむ活動団体研修	区民活動支援センターで活動するボランティア団体のインターンとして、地域コーディネート活動のノウハウを学ぶ	中山地区センター 職員１名
9	R8.2.4	みどりおはなしネットワーク交流会	おはなしおもちゃばこの活動紹介　みどりおはなしフェスタR8の企画　赤ちゃん絵本の選び方など情報共有	中山地区センター 職員１名
10	R8.2.16	みどり子育て支援交流会	「子育て世代と地域が共に育つまち・緑区へ」をテーマに横浜市立大学三輪律江教授の講演	中山地区センター 職員１名
11	R8.3.10	施設内コミュニケーション研修 人権研修	気持ちよく利用してもらうための利用者の世代に応じた対応、ハラスメントにならない話し方の研修　自己の差別意識に気づき、多様な利用者ニーズをキャッチする接遇の研修	中山地区センター 職員・スタッフ１５名
12	R8.3.16	消防訓練	火災発生を想定、３、４階から利用者を誘導し1階へ避難、一部簡易担架を使った搬送訓練、水消火器を使った消火訓練	中山地区センター 職員・スタッフ・利用者１４名

施設名　横浜市中山地区センター

令和7年度　利用者からの意見聴取集計報告

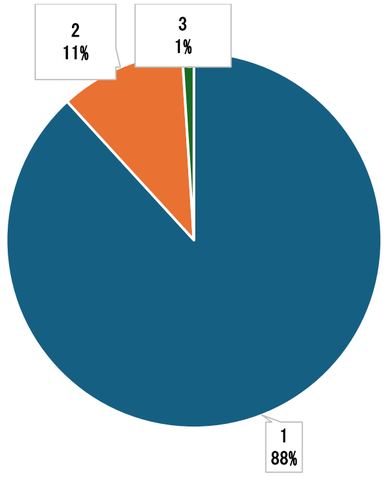
No.	実施時期	内　容	効　果
1	R7.5.8	プレイルームの空気清浄機のすき間に、幼児が紙を入れてしまった。幼児にケガはなかった。	すき間が大きいと、幼児が空気清浄機に指を挟んだりする可能性もあり、すき間が少ないタイプの空気清浄機を設置した。
2	R7.5.19	バスケットボール利用の団体より、小さいゴールの高さを調整してほしいと話あり。	現在、高さ調整ができない状態であるため、業者に相談。小さいゴールの高さを調整するよう修理または入れ替えをするには、費用上厳しいため、検討中。
3	R7.7.9	今年度の利用者会議にて、主に4階会議室Bを利用しているフラダンスの団体から、故障しているブラインドはいつ直りますか、と意見あり。	故障していたブラインド（2か所）を更新した。（更新工事日：8月1日）
4	R7.7.25	体育室利用の団体より、更衣室（女性の方）に扇風機を置いてくださいと、受付に意見あり。	猛暑のため、更衣室の温度は高くなっていた。扇風機の購入予定はないが、ブラインドで日差し調整したいと考えている。
5	R7.9.4	体育室個人利用（バドミントン）の男性より、水鳥の羽根を使用したいと意見があった。	他施設の状況を調査、落ちた羽根を自身で清掃していただく条件付きで、水鳥の羽根利用を可能とした。
6	R8.3.11	卓球ネットの利用頻度が高いので、ひも部分が悪くなっているものは取替をお願いしたい。	定期的に点検をして、傷んだ卓球ネットは交換するようセンター内に周知した。

令和７年度　利用者アンケート（自主事業講座）集計結果

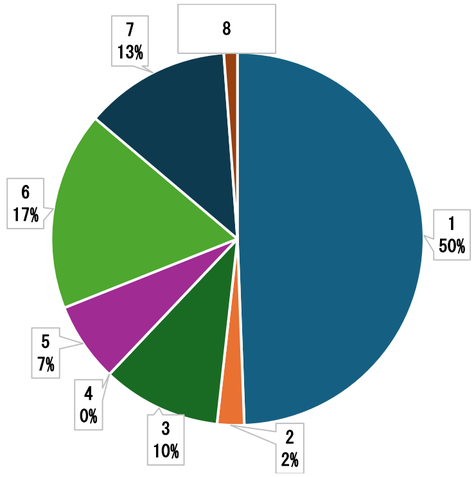
No.	募集対象	講座名	開催時期	参加人数	主要意見
1	成人	能に親しむ会	4月～7月 10月～11月	35	・能の中に神仏の存在を知り、興味深かった。・能を身近に感じられた。・お囃子の講座を希望。・能と日本文化、日本人の感性まで深められた。・座学だけでなく、鑑賞と装束付けの実習もありバランスが良かった。・今後も第一線で活躍する講師の講座を希望。
2	成人	ZUMBA（全10回）	4月～3月 （全4期）	200	・楽しく参加。もう1回くらい増やしてほしい。・講師が最高です。・子供の参加ができる時間帯のZUMBAの講座を希望。・この講座を続けてほしいです。・掃除当番について、あ行の人が2回まわってきていたが、次の回から解消されて良かったと思う。 ・週にもっと講座があれば参加したい
3	60歳以上	イキイキ健康体操（全10回）	4月～3月　（全4期）	264	・クラスの人数が多すぎる、3クラスにわけてほしい。・椅子に座ってできるクラスもあればと思う。・この体操が長く続くといいと思う。 ・先生が明るく楽しい　・講座が定員いっぱいで参加できなかったので、講座を増やしてほしい・楽しく講座に参加できて嬉しい
4	小学生保護者	親子でバドミントンを楽しもう　（全5回）1期、2期	8月～9月　10月～11月	46	・またやりたい。バドミントンが好きになった。・コーチがやさしくて楽しかったです。・バドミントンをしっかり教えてくれて嬉しかったです。・最後の試合が盛り上がって楽しかった。
5	成人	始めての包丁研ぎ講座	5月	6	・とても勉強になりました。・今日早速、家の包丁を研いでみます。
6	小学生	子どものアトリエ油絵教室	7月～8月	16	・モデルを見て、絵を描くのがたのしかった。・すてきな作品ができて、うれしかった。・絵がうまくかけて、うれしかった。・くぎを打つのがたのしかった。・はじめての油絵でたのしかった。・むずかしかった。
7	小学生	Sing　Along！子どもコーラス	8月	14	・横浜市外在住、子供が絶対に行きたいというので、電車の練習をして通わせました。時間がかかってもとても楽しかった。・夏休みに特別な体験ができました。・学校の音楽の授業、カラオケが好きで申し込みました。最初は、行きたくないと言っていましたが、参加したら楽しかったと、家でも歌を口ずさんでいました。
8	小学生保護者	親子スイーツ講座　夏にぴったりアイスコーンケーキ	8月	8	・親子のクッキングに近くの地区センターで参加できてうれしかった。・6年生になるまで続けてほしい。
9	小3～6年	小学生の書き初め講座	12月	11	・冬休みの宿題を1つ完成できてよかった。・家でやるより、どう書くか参考になりよかった。・わかりやすく教えてくれてよかった。・きれいに書けて良かった。
10	成人	植物染体験～玉ねぎの効能をシルクに込めて	10月	1	・自宅でも気軽に楽しめそうなので、教えていただいて、ありがたかったです。手順の用紙を参加者に配布していただけたら良かった。・染色で他の色で、あまり難易度がまあまあならば、やってみたいです。
11	成人	はじめよう！韓国語入門講座（全4回）	11月～1月	4	・また、韓国語講座や韓国料理教室、水彩画入門講座があれば参加したいです。・みんなと一緒に学べることが楽しく、先生もステキでわかりやすい内容、毎回来るのが楽しみでした。
12	成人	共読講座	1月	4	・ぜひ又参加したい　本に関する講座希望・幅広い本に関する話に感心した・日本の伝統芸術に関する講座希望
13	成人	Worldkitchen韓国料理	1月	16	・料理講座を増やしてください。とてもおいしくいただきました。家でも作ります。・料理教室は人気ですので、今後も検討してください。・青葉区在住ですが、中山は交通の便が良く、今後も機会があれば参加させていただきます。・韓国料理は特に好きです。
14	成人	ニャンドゥティの三角モチーフストラップ作り	2月	5	・1回限りでなく、数回通えたら楽しいと思う。・初めてでしたが、仕上がったて満足です。定期的に講座をやっていただけたら嬉しいです。講師が時間がかかっても丁寧に教えてくださったのが、良かったです。・今回のような手作り作品の講座にまた参加したいです。
15	子ども保護者	ARスタンプラリー　まちでミドリンさがそう	3月	18	・動画再生するとキーワードが画面の外にはみ出して読み辛かった　・スタンプラリーまたやりたい　・ポイントのアクセスが少し分かりにくかった　・センターたよりはチェックしており、様々な講座やってほしい

令和７年度　利用者アンケート　集計結果

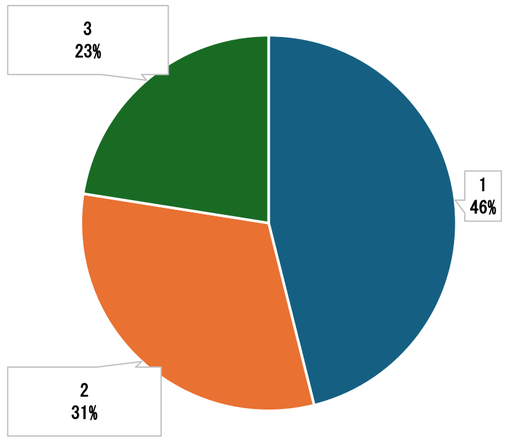
問１．　居住区割合



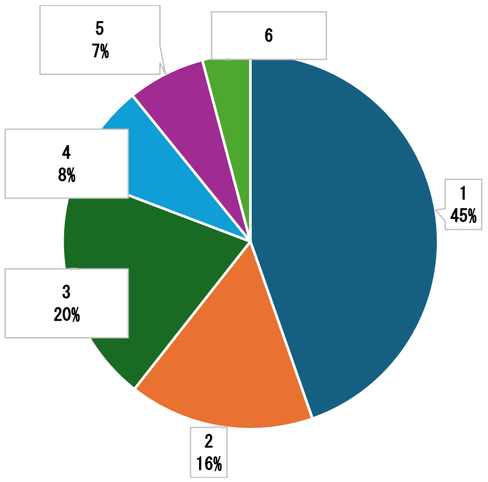
問２．　年齢層



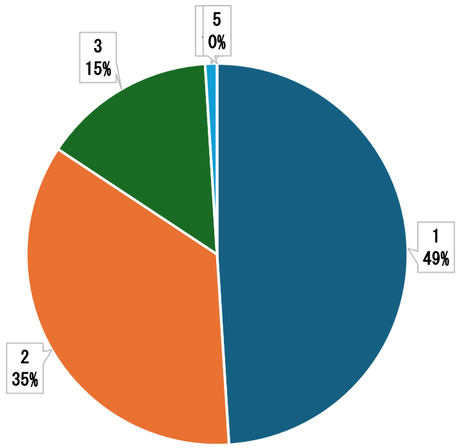
問３. 利用頻度



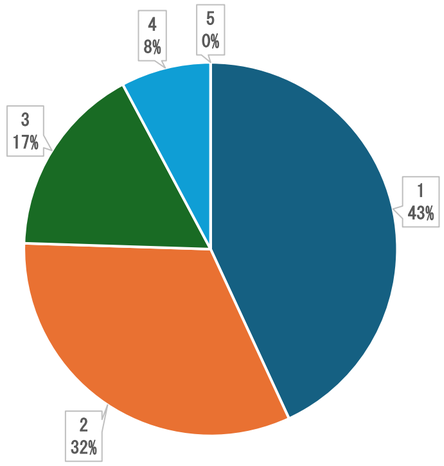
問４．　部屋利用



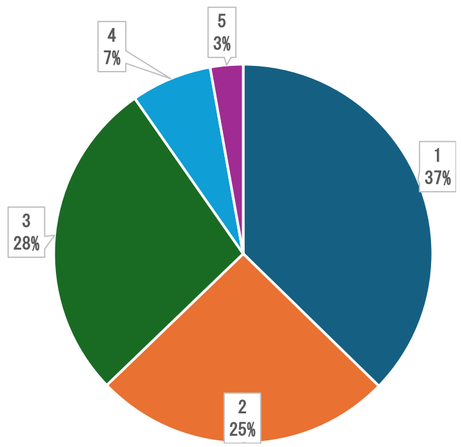
問５．　スタッフ対応



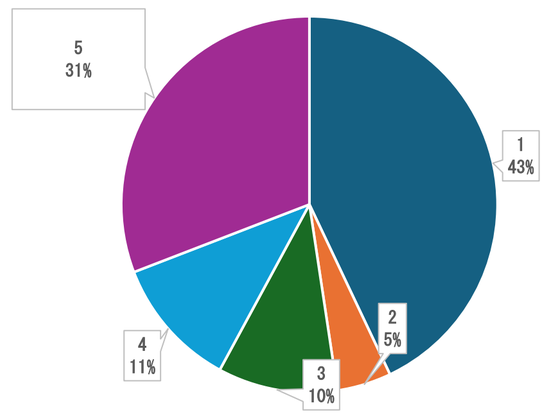
問６．　施設の清潔さ



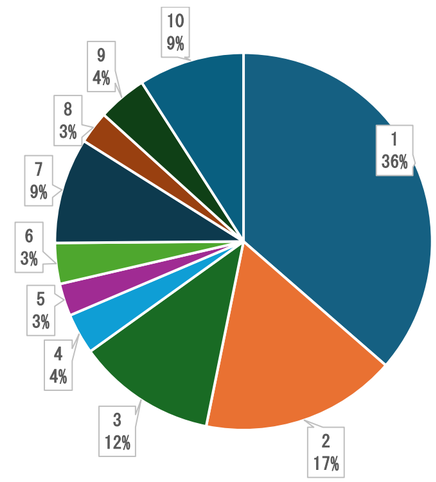
問７．　施設備品



問８．　HP・Youtube認知度



問９．　要望イベント



調査(Ipad活用）にご協力いただきまして、ありがとうございました。調査期間以外でもお気づきの点がありましたら、お申し出ください。また、センター内にご意見箱を設置しておりますので、あわせてご活用ください。

令和7年度　光熱水費内訳

施設名　中山地区センター

項 目	ガ　ス		電　気		水　道		月　計
	使用量(㎥)	料金(円)	使用量(kwh)	料金(円)	使用量(㎥)	料金(円)	料金(円)
4月	1,038	118,006	11,806	329,927			447,933
5月	1,314	145,536	11,000	320,750	187	147,224	613,510
6月	1,794	188,048	16,013	425,743			613,791
7月	2,735	252,158	16,532	448,605	285	235,387	936,150
8月	2,831	249,950	19,314	531,555			781,505
9月	2,354	211,442	19,883	507,371	258	210,466	929,279
10月	1,289	130,383	19,068	479,957			610,340
11月	1,229	123,646	15,250	383,875	183	143,889	651,410
12月	1,939	206,943	12,118	324,830			531,773
1月	2,280	200,419	12,277	330,972	155	118,879	650,270
2月	2,181	194,572	11,200	302,371			496,943
3月	1,748	182,494	11,473	276,734	171	132,813	592,041
合　計	22,732	2,203,597	175,934	4,662,690	1,239	988,658	7,854,945

基本協定書等に定めた目標の達成状況について（令和7年度）　　中山地区センター
（必要に応じて別紙（様式任意）で作成をお願いします。）

（1）稼働率向上に向けた取り組みとその達成状況について
（目標　稼働率　65%）
（2）利用料金収入増に向けた取り組みとその達成状況について
（目標　利用料金収入　5，100 千円）
（3）幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みとその達成状況について
（4）その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みとその達成状況について

（1）猛暑による利用控えが心配されたが通年で落ち込むことなく、稼働率65．4%
・日曜夜間の臨時開館枠を未登録団体優先に。
・毎月11日の抽選結果公表後は、同日17時からインターネット受付、できるだけ空き室がでないように。
・稼働率の低い料理室は、料理の講座「季節の洋菓子作り講座」「小学生・親子クッキング教室」「韓国料理講座」を実施。調理せず会食を伴う利用や、楽器演奏や会議に貸出。工芸室、和室Aは、夜間に音楽家の楽器練習。和室Aは麻雀、ヨガの利用

◆施設の改修・改善並びに備品等の更新（令和7年度）

部屋名	改修・改善並びに備品類の更新
会議室	Bブラインド2か所更新　A壁補修　A掃除機
和室	B畳替え
工芸室	机8台更新
体育室	防球ネット補修　バスケットゴール点検調整　天井シリコン防水　コンセントカバー交換　体育室ホール等LED化　個人利用用具（卓球ボール、バドミントンシャトル）
料理室他	コーヒーポット3台
共有エリア他	誘導灯バッテリー交換　無圧ヒーター部品交換　AHU－1制御機器　1階エレベーターボタン交換　プレイルームカーテン取付　4階シャッター修繕　プレイルームLED化　1階自動ドア交換　書籍78冊　木製レール電車セット

（2）祝日夜間や年末年始に加え日曜臨時開館で利用料金増収を図った。人気の「イキイキ健康体操」や「ZUMBA」の会場変更や二部開催で受入れ人数を増やした。
・令和7年度は30事業（開催回数179回／年）の自主事業を実施、利用料金収入は目標 5,100 千円に対して、5，240 千円。

（3）幅広い年齢層を対象として募集をした主な事業は、以下の通り。

講座名	内容
ハーモニーみどりふれあいまつり（11 月開催）	地区センターを利用している団体の活動の発表の場として、「ハーモニーみどりふれあいまつり」を開催。地元近隣の関係施設と連携をして、イベントブースを設け、幅広い年代の来場者に楽しんでいただいた。
多文化盆おどり（8月開催）	アフリカ開発会議盛上げ、多文化理解のため、アフリカ音楽とサンバ、盆踊りの共演　射的　アフリカドーナツとコーヒー提供　焼きそば販売
第3回多文化フェア＠なかやま（9月開催）	NGO の活動紹介、ウクライナ避難者による民謡、多文化共生団体の交流のため講演会と意見交換、インド料理販売
第４回なかやま笑劇場（10月開催）	横浜市内で活躍している落語家4名（一部マジックショーも開催）による会。共催：中山地域ケアプラザ
イキイキ健康体操（4回／年）	継続している人気の講座。概ね60歳以上が対象。筋トレ・脳トレ・シルバービクスを中心に行い、自身の健康保持を目的
ZUMBA	令和 3 年度からスタートした講座。年に 4 回開催、多くのリピーターが

（4回／年）	参加。体育室で、定員を増やし開催
子どもコーラス （3回／年）	元劇団員の講師を迎え、小中学生を対象に、有名なミュージカル曲で歌とダンスを体験　最終日は保護者の前で発表
能の講座（2 回／年）	重要文化財の能楽師が演目の見どころを解説、装束や能面に触れる体験、能鑑賞きっかけづくり
ぶらりタウンウォーキングなかやま	地区センターから外に出かけて、ガイドボランティアの案内で、中山周辺の歴史、自然、まちの魅力を発見
油絵教室、工場見学、Esports体験、習字体験【夏休み・冬休み等企画】	小学校の授業にはない油絵を描き、手作りで額縁作り。ドイツ企業の展示場で金属加工によるモビール製作体験　Esports体験　書初めを長期休暇の宿題として活用も。
季節の料理講座	親子スイーツづくり　韓国料理
親子バドミントン講座（2回／年）	小学生と保護者を対象にしたバドミントン教室。緑区バドミントン協会講師が、初心者から経験者まで丁寧に指導
共読講座（全2回）	千代田区図書館サービスプロデューサーを講師にむかえ、読書活動を通じてコミュニケーションを深める楽しいひととき
ミドリンさがそう　ARデジタルスタンプラリー（3月）	「GREEN×EXPO2027」を応援する取り組み。大学研究室の製作によるスタンプをスマホで読み取り、キーワードを完成　家族三世代で楽しめる最新テクノロジー

≪子育て支援≫

プレイルームを楽しく使えるようにぬいぐるみ、木製レール電車セットなどおもちゃを補充　カーテン更新区子育て支援者派遣事業を週2回（火・金）「おはなしおもちゃばこ」（季節にちなんだ絵本や大型絵本・紙芝居読み聞かせ）横浜市の姉妹都市にちなんだインド、フィリピン、カナダ、ウクライナの絵本とパネル紹介ハロウィンには仮装してきた親子にプレゼント　まちライブラリーに参加している『SMALLTOWN LIBRARY』コーナーで、子育て世代を含む全世代対象に、職員が選んだお勧めの本を展示・貸出　ARデジタルスタンプラリーを三世代が楽しむ

≪青少年の居場所作り≫

放課後の遊び場として、体育室の個人利用（バスケットボール・フットサル・卓球・バドミントン・ソフトバレー）　娯楽コーナーでオセロ、トランプなどカードゲーム、土日は中学生の校外部室に工芸室を開放　グループ室、図書コーナーで学習

（4）職員がアイディアを出しあう場づくりを、クラウドストレージなど ICT 環境を活用しながら、実施。意識統一と組織力や調整力の強化のため、地域振興課主催のネットワーキングに参加
・地域コーディネートのため、まちライブラリーを設置、地元作家の絵や工芸品など活動紹介　ボランティア団体でインターン研修

令和７年度（中山地区センター）自己評価表

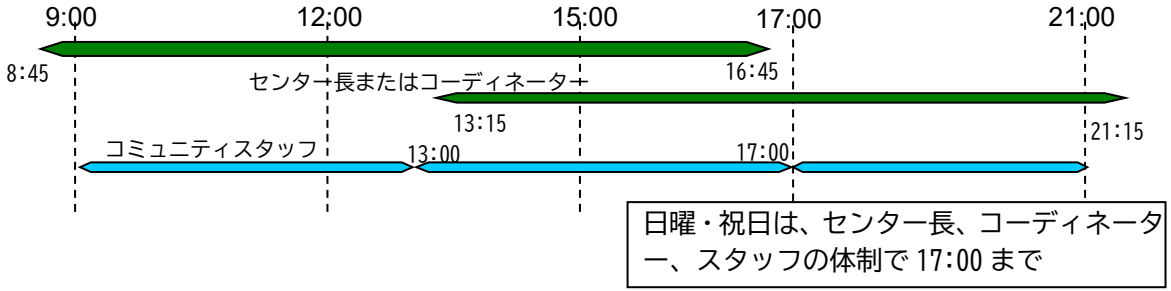
<table>
<tr><th>目標設定の視点</th><th>計画内容及び運営目標</th><th>計画内容及び運営目標
に対する実績</th><th>今後の取組
（改善計画）</th><th>自己評価</th></tr>
<tr><td>利用者サービス</td><td>事業計画書
(2)イ　地域特性、地域ニーズ
・ＪＲ中山駅を基点に商業施設や新興住宅地、小中高等学校があり、昔からの住民と開発地に住み始めた住民が共存。
・利用圏は、新治中部地区連合町内会、山下地区連合町内会で、利便性の良さから、近隣にある工場など事業所に勤務する人、子育て中の若い世代、子どもからシニアまで幅広い世代の交流の場が必要。
<table>
<tr><td>特　性</td><td>自治会加入率 72 パーセント。あいさつ程度で余り近所付き合いはない 60 パーセント、であるが顔の見える関係づくりは 80 パーセントと高い。</td></tr>
<tr><td>ニーズ</td><td>健康、生計、介護が困りごと、近所の助け合いは 55 パーセントが「何か手助けできる」と地域力が備わる。
関係づくりに自治会活動が必要と答えたのは 65 歳以上の 55%、若い世代は祭りなどイベントに 40 パーセントが参加</td></tr>
<tr><td>期　待</td><td>若い世帯を含め防犯・防災活動参加を促進、子どもや外国人も視野に入れる。
お祭りなど地域活動を通して、ご近所同士の顔が見える関係づくりを目指す。
世代を超えて交流するお祭りや行事に楽しんで参加でき、つながりが深まる期待</td></tr>
</table>
・バスやグリーンラインを利用し青葉区、港北区、都筑区、旭区など周辺区の利便性も高く、集客が期待できる。
・子どもから高齢者まで、楽しめる施設運営と自主事業を行い、多様な交流と活動の場を提供。
・子育て世代や保護者への支援として、近隣の小中学校と連携し、マナーや学力の向上に貢献。
・歴史ある寺社巡りなど街の魅力の再発見を利用者に伝える。
<table>
<tr><th></th><th>令和７年度</th><th>令和８年度</th><th>令和９年度</th></tr>
<tr><td>稼働率</td><td>６５％</td><td>６７％</td><td>６８％</td></tr>
<tr><td>利用者数</td><td>79,000 人</td><td>80,000 人</td><td>81,000 人</td></tr>
</table>
【数値目標】入館者数　79,000 人</td><td>【数値実績】入館者数 86,601　年間目標を大きく上回った　他施設より小中学生に利用しやすい反面、喫煙が問題化　体操、ウォーキング、多文化交流を通じた地域コーディネートを推進</td><td>小中学生、子育て世代をさらに取り込むため、おもちゃ、運動用具、図書の充実を図る</td><td>A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>ウ 公の施設としての管理
・市や区からの委託・依頼等を受けた事業や、健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等、公益上必要と認められる事業には、地区センターの優先利用や減免。
・自主事業終了後に結成された団体に、会員募集や優先利用など、継続的な活動をサポート。
・近隣自治会等の地域活動の拠点や集会での活用。
・利用者の立場に立って公平・公正を基本に運営。優先利用や利用料の減免については、公平性を損なわない運用。</td><td>下水道局、区生活衛生課、区老人クラブ連合会など韓国語講座から利用団体　障害者団体に減免</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
・多様な地域団体と連携してニーズ把握と事業化を目指す。
・コミハ委員会や利用者会議を開催、利用者意見箱の常設、自主事業アンケートなど、地域や利用者の声を把握。
・リピーターの多い事業は継続開催、新規事業や多文化フェア、ふれあいまつりの開催など多角的に対応。
【数値目標】　施設備品購入・環境整備　Ｒ７年度３０件　⇒　Ｒ８年度３０件</td><td>バスケットゴールの修正、和室畳替え、プレイルームカーテン更新など15件</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>オ 利用者サービス向上の取組
・地域の方々が、また利用したいと思うサービスを提供。
・明るくコミュニケーションを図り、利用しやすい雰囲気で、活動や地域交流が生れる場づくり。
・利用者意見箱は、よりよいサービスを提供するため、運営に反映。
【定性目標】　笑顔と声掛けで利用者を迎え、心安らぐサービスの提供</td><td>中学生の居場所として工芸室を開放、見守りに演奏ボランティアを募集</td><td></td><td>A</td></tr>
<tr><td>業務運営</td><td>事業計画書
(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制
【１】職員はセンター長１名、チーフコーディネーター１名、サブコーディネーター２名、コミュニティスタッフ１２名、作業スタッフ２名、全１８名で構成。
（休館日：年末年始 12/29~1/3 及び毎月１回の設備等点検日）
<table>
<tr><th>職　種</th><th>人数</th><th colspan="2">雇用形態・勤務体制</th><th>業務内容</th><th>必要な職能</th></tr>
<tr><td>センター長
チーフコーディネーター</td><td>１名
１名</td><td>常勤</td><td>8:45～16:45
13:15～21:15</td><td>管理・運営統括
チーフ地域コーディネーター</td><td>マネジメント力、臨機応変の対応力、折衝力、指導力</td></tr>
</table></td><td>スタッフ間の調整により、円滑に勤務交代。自己都合退職者の補填も臨時募集などで円滑対応</td><td></td><td>B</td></tr>
</table>

サブコーディネーター	２名	非常勤	8:45～15:45 14:15～21:15	施設管理、自主事業の開催、庶務。サブ地域コーディネーター	企画力、調整力、応対力、パソコン技術
コミュニティスタッフ	12 名		9:00～13:00 13:00～17:00 17:00～21:00	利用案内、各種受付、利用状況報告書、室点検、用具貸出	コミュニケーション力、応対力、パソコン技術など
作業スタッフ	２名		8:00～11:00	清掃、廃棄物分別	整理整頓力、分別知識

【２】勤務体制

原則としてセンター長又はコーディネーターが常に 8:45～16:45 又は 13:15～21:15 に勤務し、コミュニティスタッフ２人が午前、午後、夜間にそれぞれ勤務するシフト。



【定性目標】職員・スタッフの急病への対応のため円滑に交代要員確保。

ウ 緊急時の体制と対応計画

・安心・安全に利用できる地区センターを目指し、各対応マニュアルに基づき、迅速・的確に初動体制をとって対応。
・緊急連絡網を作成し、区・関係機関等へ迅速に連絡し、連携。
・当協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を、機会を捉えてスタッフに確認。
・日常点検時に、点検実施表を用いて１日７回以上館内外の確認。
・閉館時の防犯、防災については、警備会社と契約。
・万が一、施設で発生した損害賠償等に対応するため、施設賠償責任保険に加入し、対人２億円の補償を確保。

帰宅困難者受入訓練、区災害地作本部訓練、消防訓練、防犯訓練など緊急時体制と対応を万全にするための備え　緊

B

・「子ども１１０番」、「警察官立寄所」など、地域の防犯に積極的に協力。

・特に防災については

取組①	平成 27 年度から帰宅困難者一時避難場所として、300 人規模の受入れ体制を整備、発災時は近隣のスタッフにより 24 時間立ち上げ可能。
取組②	ハーモニーみどり入居事業者が、緑消防署の協力も得て実施する、合同避難・消防訓練(年２回)
取組③	風水害情報や不審者情報は迅速かつ正確に、利用者に対して提供 緑警察署と連絡を密にして、施設や利用者の安全を確保
取組④	センター長を防火責任者とし、防災計画や警備計画を策定。 4 階建て複合施設であることから、防火、速やかな避難誘導には特に留意。
取組⑤	AED を設置し、職員に対し年１回取扱訓練を実施し、待ったなしの事態に備え

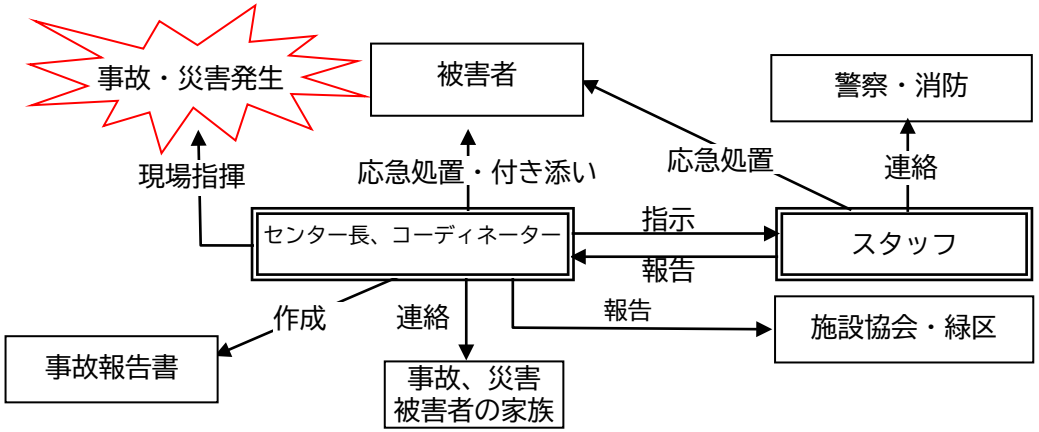
急時スタッフを24 時間確保

②その他緊急時の対応について

・館内外で事故等が発生した場合は、速やかに救急救助・警察・区等関係機関へ連絡・報告し対応。

・被害者の応急措置や家族への連絡、付き添い等を適切にできるよう、研修等で職員に徹底。

・特に、小中学生のトラブルについては、学校との連携を密にし、子どもの健全育成に配慮した対応。



【定性目標】「緊急時マニュアル」を職員スタッフ一同が把握し、人命の保護を第一に行動。

(4)ア 設置理念を実現する運営内容

・緑区区民利用施設協会は、区と連携、区民利用施設の管理運営及び区民が参加する活動への協力等を通じて、区民を主体とした活動とふれあいのある生き生きとした地域社会の実現に貢献していくことを目的。

＜緑区区民利用施設協会執務方針＞

区民サービスの向上と効率的な運営を基本に業務の質の向上に努めます。

・お客様の声をよく聞き、快適で満足度の高い施設環境を提供します。

・お客様が安全に安心して利用できるよう万全な危機管理を行います。

・個人情報保護・金銭執行管理・執務執行管理を適正に行います。

・職員間の情報共有を進め、コミュニケーションを密にします。

・中山地区センターは、地域の住民が自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、研修会、サークル活動など、社会教育と生涯学習を通じ相互交流を深めることを目的として設置。

目的	地域の方々や各種の団体・企業が繰り返し集うことで、交流が深まり地域コミュニティが深化
具体的な進め方	「また利用したい」、「身近なオアシス」と思ってもらえる施設運営、さらには ICT 活用によりリモートでも利用できるデジタル公民館を目指す。 ①ケアプラザ、シェアスペース、小中学校など地域内の施設と連携し、福祉保健活動・ボランティア活動・国際交流活動の場に ②シニア、子育て世代、青少年が読書活動を通じ交流できる「まちライブラリー」を提供 ③明るく清潔に、あいさつを励行、様々な活動や地域交流が生れる地区センターに ④気軽に参加でき、ニーズにあった自主事業を企画、利用者の掘り起こし ⑤持続可能な運営を考慮し、負担を抑えつつ利用料金を値上げ

A

①利用の働きかけの強化	・文化・音楽系団体への利用の働きかけ、夜間利用向上のため勤労者への利用（サークル活動・勉強会)のＰＲ。 ・祝日夜間（17:00～19:00)、12 月 28 日、1 月 4 日（9:00～19:00）に臨時開館を実施 ・新刊本の充実を図り、「図書コーナー情報」を地域に配付して、地域にＰＲ。 ・「まちライブラリー」にアーティスト作品を展示し、知の交流スポットとして「覗いてみたくなる」場所に。			
②自主事業の充実	・気軽に参加できる講座を年間１９０件程度実施 ・健康長寿のための生涯学習や子どもの放課後居場所づくりなど、社会教育面の課題も意識した講座・自主事業を実施 ・地域の学校や芸術団体による、発表会や鑑賞会を開催 ・区内で自主的な活動を展開する団体の協力も得て、ICT 教室等を開催			
③自習室のＰＲ	中高生～社会人まで利用できることを広く広報			
④希望を活かす	利用者懇談会や自主事業参加者アンケートを活用し、運営に生かす。			

イ 利用促進策

	令和７年度	令和８年度	令和９年度
稼働率	６５％	６７％	６８％
利用者数	79,000 人	80,000 人	81,000 人

・自主事業は、ニーズを踏まえた、誰もが気軽に参加できる事業を。
・広報よこはま、地区センターだより等の活用、ホームページの情報更新。
・設備・備品の充実により安全で快適な施設に。

【数値目標】

稼働率　前年実績を超えて　６５％

稼働率 65.4％ 料理室の低迷が課題	工芸室、和室が楽器練習で利用を伸ばしており、料理講座や飲食スペースとしての利用を増やす	A

オ 本市重要施策に対する取組

(ｱ) 情報公開

「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」を踏まえ、情報の開示請求には、個人情報に十分配慮しながら、規程に照らして適切な対応。

(ｲ) 人権尊重

多様性理解、人権尊重の推進体制を確立するため、多文化フェアを開催。スタッフを対象に研修とＯＪＴを実施し、また人権尊重の方針を、リーフレットやポスターによる発信。

(ｳ) 環境への配慮

・地理的にもテーマにおいても北部４区に関係の深い GreenEXPO2027 のプロモーション拠点となり、みどりを愛でるウォーキング開催や農園の講座など実施。

・近隣の中学校などと連携しリサイクルや緑化活動を応援。

・ゴミ分別取組みを利用者とともに進める。

(ｴ) 市内中小企業の優先発注

「横浜市中小企業振興基本条例」踏まえ、業務委託/物品購入は市内中小企業に発注します。（下表予定）

委託内容・工事内容・購入物品	事業者名	所在(全て横浜市内)
日常・定期清掃、設備全般点検	(株)港都	港北区新横浜
消防設備保守点検	(株)東横防災商事	緑区霧が丘
内装等修理	(有)中山堂表具内装	緑区中山
スポーツ用品購入	東京体育用品（株）	青葉区みたけ台
生花購入	三好種苗(株)	緑区中山

※　日常植栽管理は、シルバー人材センター登録者にお願いします。

(ｵ) 障害者福祉政策

近隣の障がい者施設に、体育室の個人利用時に優先的に場所を確保、大型絵本の貸し出し。支援学校の視察、ボランティア活動への協力。

(ｶ) 子育て支援政策・ＤＶ防止政策（男女共同参画政策の一部）

緑区こども家庭支援課と連携し、子育て支援者の会場として、親子のふれあいを推進。「親子遊び」「絵本読み聞かせ」など親子で参加する自主事業を実施。

グリーンエキスポ盛上げる区内の緑や農に触れるウォーキング、イベントでのフォトスポット

インド、フィリピン、カナダ、ウクライナ、アフリカ、ブラジルなど横浜と交流のある国の文化理解イベントを通じて市人権尊重施策の実現

グリーンエキスポをさらに盛り上げ、多文化交流と読書活動推進を通じた利用促進を図る　令和７年度制定の横浜市こども・子育て条例に基づき子どもの意見を施設運営に生かす

A

	ク アイディア提案を募った項目（該当施設） ・地区センターの目標は、職員全員の目標として共有、「達成するためにはどうしたらよいか、どのような貢献ができるか」をひとり一人が考え行動。 ・職員意識と組織力を高め、居心地の良い施設に向けた企画と実施。	自主事業や農など地域の魅力を職員がYouTubeやLINE発信		A
	(5) 自主事業計画 ・地区センターは「地域活動の拠点として、地域と人、人と人を結ぶ場」。この役割を果たす大きな柱の事業として、誰でも気軽に参加できる自主事業を企画実施し、「いきいきと心豊かな生活をおくるきっかけづくりや仲間づくり」をコーディネートし、まちづくりに貢献できるよう継続的に支援・伴走。 （令和７年度予定38事業192回実施） ・楽しく交流しながら体力・健康づくりや文化活動など生活の幅を広げる講座 ☞「イキイキ健康体操」「ＺＵＭＢＡ」「共読講座」「能に親しむ」「書道講座」「染色体験」 ・地域住民を対象に、当協会連携団体の協力を得て、年代各層が交流できる場 ☞「多文化フェア」「ハーモニーみどりふれあいまつり」 ・ニーズや地域特性を踏まえ、バラエティに富んだ講座 ☞中山周辺の今と昔（古刹など）を訪ねて話を伺い、GREEN×EXPO2027を盛り上げ地域の花とみどり、古木を愛でる「ぶらりタウンウォーキング」「地場野菜を慈しむ」 ・国際化が進む中、地域の子供たちが日本の良き伝統文化を認識し、国際交流のきっかけづくりを目的とした講座 ☞「多文化フェア」「小学生の書初め」「なかやま笑劇場」 ・小中学生を対象に、普段経験できないことを体験できる講座 ☞「ドイツものづくり体験」「Esports」「子どものアトリエ油絵教室」「ミュージカル体験W／Ｓ」 ・親子で参加できる絵本読み聞かせ、親子遊び、子育て講座等 ☞「おはなしおもちゃばこ」、「いっぽ」とのスタンプラリー、「おもちゃ病院」 ②自主事業の運営方法について ・各教室/講座の講師には、区内で活躍している人を中心に依頼し、双方向交流と学びが生まれる豊かな生涯学習の場を目指す。自主事業から生れた団体には、会員募集や一定期間部屋の優先利用など、自立に向け継続的にサポート。 ・参加しやすいよう、予定数を超えた場合は、講師と調整。	30事業179回実施　健康体操、ZUMBA好評 染色体験、多文化盆おどり、 Esports韓国語、ミドリン探すARスタンプラリーなど新規事業 カフェ、古刹、農、花と緑など地域の魅力を訪ねるウォーキング おはなしおもちゃばこで横浜と交流のある国の絵本読み聞かせ	ニーズや地域特性を踏まえ、バラエティに富んだ講座を実施	A

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>・アンケートを行い、PDCA サイクルにより検証。

③PR の強化について
・YouTube チャンネルと LINE による講座などのデジタル公民館としての発信
・「広報よこはま」、「地区センターだより」、区民活動支援センターに情報提供。
・ケーブルテレビやミニコミ誌など各媒体に活動内容をＰＲ</td><td>多文化盆おどりがケーブルテレビ　多文化フェア、ウォーキングがタウン紙報道</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(6) 施設の維持管理計画
ア　保守管理/補修
建物内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気/空調設備、給排水衛生設備などの保守点検は、適正に専門業者に委託。
建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが点検実施表を用い毎日５回点検。
イ　清掃
床/トイレ清掃、机/手すり等日常清掃は、協会が雇用するスタッフで。
定期的な清掃は、委託した専門業者が実施。
<table>
<tr><td>毎月実施</td><td>床洗浄/ワックスがけ</td></tr>
<tr><td>年４回実施</td><td>窓ガラス清掃など</td></tr>
<tr><td>年１～２回実施</td><td>カーペット洗浄、屋上清掃、害虫駆除など</td></tr>
</table>
ウ　外構植栽等管理
敷地内の植栽等は、適切な時期（年２回）に委託による選定/消毒。
エ　保安警備
開館中の保安警備はスタッフが行い、館内外を日に７回見回り。
夜間や年末年始などの職員不在時は、警備会社に施設全体の警備（機械警備）を委託。
【数値目標】Ｒ７年度エレベーター閉じ込め事故０件</td><td>エレベーター、AHU、防火シャッター、自動扉など修繕</td><td></td><td>B</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>職員育成</td><td>事業計画書
(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制
<table>
<tr><td>センター長</td><td>施設運営や地域コーディネートに精通している者のうちから適格者を配置</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>公募により「地域の施設は地域の方々で運営していくこと」を基本に、職務経験・</td></tr>
</table></td><td>定例の研修に加え、ミドリンネットの共同イベント、ボランティア</td><td>地域コーディネートを重視した職員育成を継続　横浜市カスタマーズハラスメント対策基本方針に沿い、不当</td><td>A</td></tr>
</table>

	地域での活動実績や適性を考慮して地域人材（女性、シニア含む）を採用 ・社会経済情勢の変化に伴い利用者のニーズも多様化する中、職員の能力・資質の向上。 ・施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、業務研修、接遇研修、防犯研修、消防救助訓練、人権・個人情報保護研修等、施設協会研修計画に則って実施。 ・センター長にはマネジメント研修、コーディネーターには、企画力の向上を目指す生涯学習関係の研修などに参加。	団体でのインターン研修を新たに実施	要求は毅然とした対応を目指す

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

重点①	センター長を個人情報保護責任者とする個人情報保護体制を確立し、関係法令や協会が定めた「特定個人情報保護方針」をスタッフ全員に周知徹底、遵守
重点②	各種申込書、申請書への記載事項は必要最小限とし、その収集目的を利用者に明示
重点③	取得した個人情報は、法令に基づく場合や司法機関等からの要求がある場合又は本人の同意がある場合以外は、第三者に開示せず
重点④	事例の多い、個人情報データをコピーした媒体の紛失や盗難、伝票等の誤廃棄、メールの誤送信など、個人情報漏洩の防止には、以下の対応。 ・個人情報記載書類等の保管は、常に施錠できる書庫に収納 ・不要となった書類はシュレッダーによる処理の徹底 ・個人情報データ/伝票は持ち出し禁止、コピー禁止 ・パソコンの施錠、ＵＳＢメモリー等の記録媒体は施錠できるところに保管
重点⑤	職員全体で問題意識を持ち、個人情報の取り扱いを正しく認識するため、特記事項チェックリストにより理解度を点検するとともに、職員研修を年２回実施
重点⑥	個人情報保護の徹底とともに、必要な情報は利用者に積極的に提供

研修名	研修対象者	実施目的	実施時期	研修内容
接遇・人権研修	職員・スタッフ全員	施設運営に必要な能力・資質を向上	3 月期	外部講師ロールプレイング、外部講師講義
個人情報保護研修	職員・スタッフ全員	情報漏洩防止	4 月期	副理事長講義
AED 救急救命研修	職員・スタッフ全員	心肺蘇生法	4 月期	消防署による指導
防犯・事故防止研修	職員・スタッフ全員	安全な施設運営	10 月期	警察署・業者による指導
合同消防避難訓練	職員・スタッフ全員	全事業所の消防訓練	年 2 回	消防署による指導、避難、消火

マネジメント研修	Ｃ長	経営戦略構築	随　時	地域社会動向の情報収集
コーディネート	Ｃ長、チーフ	生涯学習の重要性	随　時	連携施設の事業参加
地域連携研修	サブ	他施設との連携	年４回	区役所主催、ワークショップ

【数値目標】	防火管理者　現在３名　→　引き続き３名体制維持 【定性目標】運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修。館内外の簡易な補修はスタッフで。

財務

事業計画書

(6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）

・利用者の方々が、気持よく、安心・安全に利用できるよう、資格や専門知識の必要な分野は、専門業者に委託。

・建物の状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水衛生設備などの保守点検は、専門業者。

・建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが毎日点検。

(7)ア 収入計画の考え方

項　　目	金額/千円（構成比）	備　　考（金額の単位：千円）
指定管理料	４１，７７５（８４．８%）	
利用料金収入	５，１００（１０．３%）	
自主事業収入	２，０６７（　４．２%）	自動販売機手数料３２０
雑　　入	３８５（　０．７%）	
合　　計	４９，３２７（１００%）	

厳しい財政状況の中、自主財源の確保に一層努力し、経費の節減と収入増を図る。

地区センターの利用ＰＲや魅力ある自主事業の企画/実施など、部屋の稼働率を高める。

【数値目標】Ｒ７目標　５，１００千円

利用料金524万円と目標を上回わる　自主事業収入307万円

収入増に向け、日曜臨時開館を拡大

A

イ 増収策

利用料金値上げ、日曜日等臨時開館、自主事業の定員増などに取り組む。

ウ 支出計画

項目		内容等	金額
人件費	職員・スタッフ	センター長１名、チーフコーディネーター１名、	22,488

人件費2397万
事務費137万
自主事業費172万

効率的な運営による人件費・自主事業費の抑制を継続

A

		サブコーディネーター２名、スタッフ１４名	
	社会保険料等	社会保険料、健康診断費、福祉共済掛金	1,676
	小計		24,164
事務費	事務費	消耗品費、図書購入費、備品購入費、リース料等	1,350
自主事業費		講師謝金、材料費、保険等	1,829
管理費Ａ（ａ）	光熱水費	電気、ガス、水道料金	8,615
管理費Ｂ（ｂ）	修繕費	設備、備品等の小破修繕	993
	清掃費	日常清掃、定期清掃、害虫駆除等	1,904
	施設管理保守	消防設備、空調設備、ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ包括点検等	3,412
	小計		6,309
公租公課		消費税等	2,800
事務経費		労務、経理、職員研修等	2,699
ニーズ対応費			1,561
施　設　管　理　運　営　経　費			49,327

各経費の考え方

・人件費　～安全快適な運営、利用者サービス充実のため、必要な人員を配置
　スタッフの柔軟なシフトにより人件費を抑制
・事務費　～人事労務、経理、高額契約を協会で一括処理
　最新の事務機器やネットワークシステムを導入
・自主事業費　～質の高い事業を低廉に実施できるよう、地元の意欲ある講師に依頼
　経費のうち材料費は参加者に負担を求め、その他の費用は施設負担
・光熱水費　～エネルギーコスト急上昇が続き、節減待ったなし
　利用状況に応じた、こまめな冷暖房や照明の入り切り
・保守管理費等　～職員が日常的に各所の清掃をこまめに行い、明るく清潔な状態
　緊急性があり安全確保が不可欠な修繕は、区と協議して優先順位に従い実施

光熱水費 791 万
修繕費 367 万
清掃費 145 万
設備保守 287 万
ニーズ対応161万
人件費、修繕費の補正　修繕費の市負担により経営安定

	(4)カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ） ・インターネット予約システムの運営費、地域コーディネートにおける重要なイベントである「ハーモニーみどりふれあいまつり」「多文化フェア」や、シニアや子育て中の保護者に向けた支援、室内改修、備品等の購入	多文化盆おどり 多文化フェア 書籍60冊など		
（上記4つの視点以外の項目があれば追記）				
利用者等の意見	・利用者意見箱からの意見や、自主事業終了後のアンケートの分析、「利用者会議」の開催。 ・利用者とコミュニケーションをとる中で、利用者ニーズを把握。	シャトルコック利用拡大　中学生の居場所	良い提案は即応していく	A

≪自己評価≫
A：計画、目標を上回って実施
B：計画、目標を保持して実施
C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載

（様式16）

令和7年度　管理運営業務点検報告書

対 象 施 設	横浜市中山地区センター
対 象 期 間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日
指定管理者	一般社団法人緑区区民利用施設協会
実　施　日	令和7年7月17日（木）、令和7年11月26日（水）、随時 （中山地区センターにて）
点 検 方 法	現地視察及び館長へのヒアリング、その他書類調査
講　　評	良好
指 摘 事 項	特になし
改 善 状 況	
添 付 資 料	業務点検結果シート（別紙）

（様式17）

業務点検結果シート（令和7年度総括）

施設名　横浜市中山地区センター

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	利用料金収入の目標額5,100千円に対し、実績は約5,240千円となり、達成率は約103％と収入目標を上回る成果を達成することができた。
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	令和7年度の利用者数は86,601人となり、昨年度実績（78,875人）に対して約110％の水準となった。
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	稼働率は65．4％と目標の65％を上回った。 比較的稼働率の低い料理室は、自主事業の実施や幅広い利用用途での貸出を行う等の工夫を行った。
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	適正
		ニーズ対応費執行状況（品目、数量、金額）	適正
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	適正
	運営体制	館長、指導員(副館長）、スタッフの勤務実績	適正
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施（第三者への委託状況等）	適正
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	・プレイルーム・体育室他LED照明器具交換 ・体育室防球ネット補修・バスケットゴール調整 ・4階会議室ブラインド・壁補修 ・体育室天井防水対応 ・プレイルームカーテン交換　等 その他、共有設備についてハーモニーみどり内施設と連携し、修繕を行った。
	備品	備品（Ⅰ種）の購入・廃棄状況	適正
	広聴、ニーズ把握	広聴（窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等）や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	適正
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適正
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	適正
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況（研修の実施、誓約書の提出等）	適正
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	適正
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	適正
		消防計画の作成・提出状況	適正
	保険	施設賠償責任保険への加入	適正
	研修	職員等に対する研修の実施状況	適正
	本市重要施策への実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	適正
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	令和7年6月18日（水）@中山地区センター ①R6年度事業報告　②R7年度事業計画
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	令和7年7月4日、8日、9日　@中山地区センター ①団体活動紹介　②R6年度利用状況、ニーズ対応費、利用者からの意見聴取、団体登録状況の説明、R7自主事業講座計画　③「ハーモニーみどりふれあいまつり」開催応募案内
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	令和8年3月6日　体操の団体活動中、歩く運動とストレッチ中に意識が遠のき、救急搬送
	損害賠償	損害賠償の発生状況	なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	なし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	なし
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	なし
	特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	なし

特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項	改善指導事項
	・利用率がほぼ100％で抽選倍率の高い体育室について、令和6年度から実施している祝日・年末年始の臨時開館のほか、日曜夜間も臨時開館を行い、サービス向上につなげるとともに、利用料金増収を図った。 ・利用者への丁寧な周知を行ったうえで利用料金改定を行い増収図ることで、安定した施設運営へつなげた。 ・利用者ニーズや地域特性を踏まえ、幅広い年齢層に向けた事業を多数開催した。	特になし